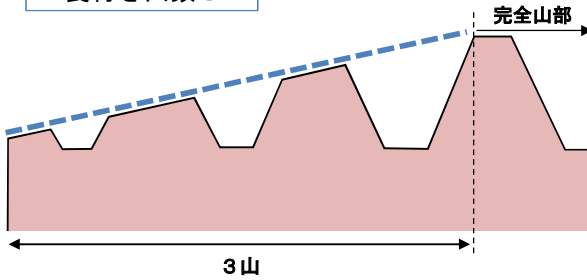


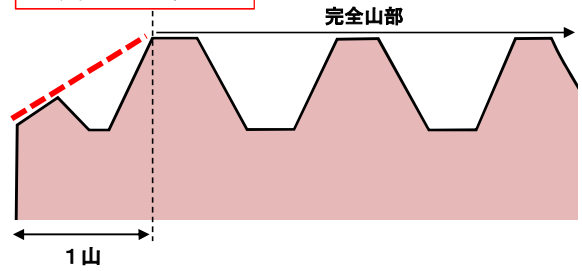
食付き部の長さ(食付き山数)と切削代の関係について

食付き部の長さの違い

食付き山数 3



食付き山数 1



種類別により切削タップの食付き部の長さ(食付き山数)は異なる。
食付き山数が小さい程、一刃当たりの切削代が多くなり寿命は低下する。

食付き部の長さによる切削代の違い

図1 溝数4 食付き山数 3

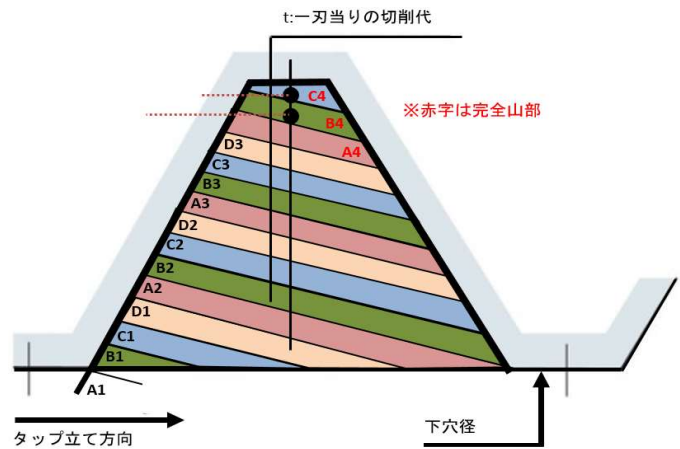
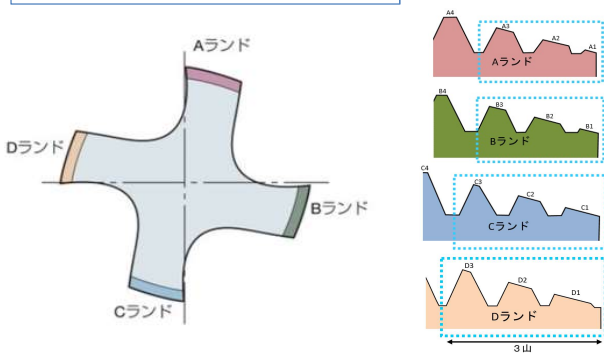
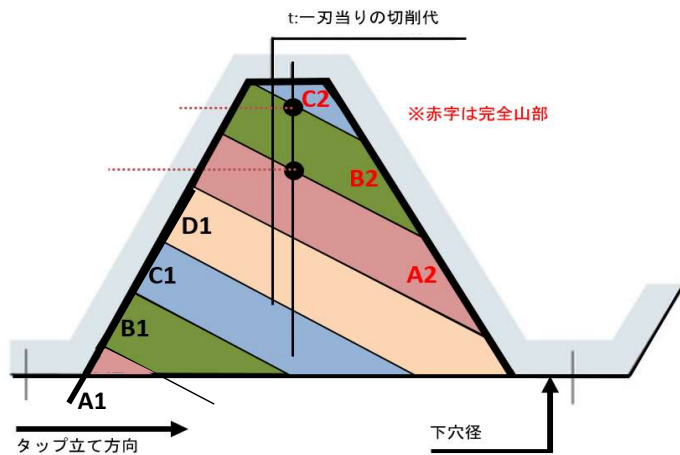
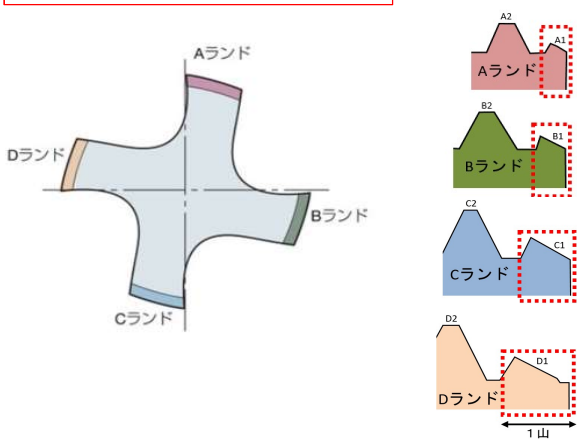


図2 溝数4 食付き山数 1



切削代は溝数 × 食付き山数から算出され、
図1と図2の通り、食付き長さの違いで一刃当たりの切削代の量が違う事が分かる。

下穴深さとねじ立て長さの隙間が無い加工の場合、
食付き山数の短いタップを使用しなければならないが、
一刃当たりにかかる負担が大きくなるため、「チッピング」「刃欠け」「異常摩耗」「溶着」など、
タップに不具合が生じる可能性が高く、
「寿命低下」や「めねじ拡大」につながる事を理解しておく必要がある。

